

目次

入館者対策の取り組み

- 視覚障がい者も楽しめる博物館の対応について（群馬県立自然史博物館）…………… 3
- 来館する小・中学校等の事前学習に活用する博物紹介DVDの制作及びその活用実践
（ミュージアムパーク茨城県自然博物館）…………… 7
- 公開天文台における夜間利用の促進を狙ったオリジナル体験型展示と施設環境の整備
（兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 天文科学センター（西はりま天文台））……………13

展示手法の取り組み

- 無線LANを利用した展示情報提供システムの構築（千葉県立現代産業科学館）……………23
- 常設展示パネル「山口左仲」の拡充（公益財団法人目黒寄生虫館）……………39
- 生き物の「かたち」「しくみ」「動き」に学ぶ（七尾市少年科学館）……………43
- 地球の現象を体感する新しい展示の実践的研究～地層の実物標本とハンズオン実験
を軸に（神奈川県立生命の星・地球博物館）……………53
- 特別展示「おいしい魚のヒミツ」（公益社団法人観音崎自然博物館）……………59

人材育成の取り組み

- 胎内昆虫の家「応援団スタッフ」の組織強化（胎内市教育委員会生涯学習課）……………69
- みんなでつくろう！「みえの身近ないきもの図鑑」（三重県総合博物館）……………75
- 科学館を核とした幼児期における科学教育の実践的研究とプログラム開発
（大阪市立科学館）……………85
- 高校生によるプラネタリウムの祭典「青春☆プラネタリウム」
（横浜こども科学館）……………93

平成29年度キッズ科学教室（後期）アドバンストコース「空気のふしぎな世界」
（徳島県立あすたむらんど子ども科学館）……………99

教育普及の取り組み

地域に埋もれた地学資料の発掘と普及教育への活用実践—鳥根県のアンモナイト化石
を例に—（公益財団法人しまね自然と環境財団）……………105

自然教育園の魅力発信：展示・教育コンテンツの開発
（横須賀市自然・人文博物館）……………111

クマによる人身被害防止のための資料収集とクマ学習キットの制作及び普及啓発活動
（福井県自然保護センター）……………117

連携事業の取り組み

阿蘇における地域の教育素材を活用した博学連携事業の推進
（公益財団法人阿蘇火山博物館）……………131

生涯を通しての学びの場となる地域科学館を目指して～地域連携の強化を通して～
（公益財団法人ふくしま科学振興協会）……………139

教員との継続的連携を目指す学校向け通年型博物館事業の作成と試行
（大阪市立自然史博物館）……………143